



くりみっ子

平成30年12月21日<第10号>

東近江市立能登川北小学校

<http://www2.higashiomi.ed.jp/notkitasho/>

文責 校長 寺村清次

学校教育目標 共に高まり合い、心豊かにたくましく生きる児童の育成

実り多き2学期が、無事終了しました

これまで経験の無いような猛暑への対策、度重なる台風への対応でスタートしました2学期も、今日で最後となりました。最も長い2学期を大きな怪我や事故もなく、無事終了できたことを嬉しく思います。

子どもたちは、運動会や音楽会、マラソン大会、たてわり活動など、数々の行事に取り組む中で、一人一人が大きく成長し、学級や学校全体の集団としてのまとまりや子ども同士の結びつきも強まりました。また、普段の授業では、「め（めあてを持つ）・じ（自力解決）・と（ともだちとの交流）・ま（まとめ）」の学習過程を大切にしながら、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができました。「わかった。できた。やってみたい。」を実感できるような学びの時間を確保することで、子どもたちが一生懸命学習に向かう姿も多く見られました。特に2学期は、地域に出かけ、地域に学び、本物にふれる体験的な学習を、それぞれの学年で実施することができました。

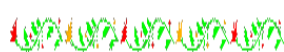
また、くりみフェスタやほんわかサロンは、地域の方のご支援により、大成功で終わることができました。校外学習や交流活動でお世話になった多くの方々のおかげで、人の優しさや人としての生き方を学ばせていただきました。今学期も本校教育に対して様々なご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。職員と共にお礼申し上げます。

いよいよ明日から、16日間の冬休みが始まります。子どもたちにとって、今年1年を振り返り、さらに飛躍するための節日の冬休みにしてほしいと願っています。そのために、心がけてほしいことが2つあります。

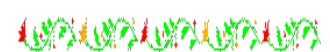
1つ目は、「新年の目標を立てよう!」です。新しい年を迎えて、新しい気持ちで、夢や希望をもって、自分に合った新たな目標を立ててほしいと思います。

2つ目は、「命を大切にしよう!」です。交通事故にあわないよう、怪我をしないよう、病気にかからないよう、十分気を付け、かけがえのない命を大切にしてほしいと思います。

1月7日の始業式には、元気に登校する子どもたちと会えるのを楽しみにしています。2019年、良いお年をお迎えください。保護者の皆様や地域の皆様、子どもたちへの見守りと温かい声かけを、これまで同様よろしくお願いいたします。



【1月の主な行事予定】



- 1日（火）元日 ノーゲームデー
- 7日（月）3学期始業式 集団下校11:40
- 8日（火）給食開始 委員会
- 9日（水）身体測定（4～6年）
- 10日（木）身体測定（1～3年）
- 11日（金）5・6年スキー教室
- 14日（月）成人の日
- 15日（火）避難訓練 メディアコントロールデー
- 18日（金）教師読み語り 自由参観日
にこにこ学習 たてわり遊び
- 21日（月）クラブ⑥
- 22日（火）6年租税教室
- 25日（金）教育相談日 集金日 教育後援会役員会
- 28日（月）クラブ・3年クラブ見学⑥

- 31日（木）ハッピーソング集会
五色百人一首大会

※大きなカブLaさん読み語り 21日、28日

2月の主な行事予定

1	金	PTA 常任委員会
5	火	ウエルカム能中
11	月	建国記念の日
13	水	学習参観⑤・保護者研修会⑥
15	金	わくわく元気ッズ大縄大会
21	木	児童集会
28	木	里帰り授業

※予定ですので変更のある場合があります。

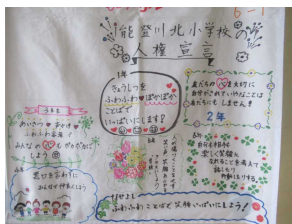
北小人権週間 12月4日(火)～10日(月)

12月初旬に、北小人権週間の取組を行いました。人権週間のめあては、「北小のみんなが、明るく楽しい毎日を送ることができるように、自分自身の生活を見つめ直し、自分のできることを実行しようという気持ちを育てる。」ことです。人権週間の主な取組を紹介します。

① クラスの人権宣言を考えよう 12月5日(火)～

友だちを大切にするためや、もっと笑顔いっぱいのクラスになるための目標を考えました。それをクラスの「人権宣言」として全校の皆さんに紹介したり、教室に掲示したりして、各クラスごとに目標達成に向けて取り組みました。

【クラスの人権宣言】



【人権宣言の旗】

- 1年：きょうしつを ふわふわぼかぼかことばで いっぱいにします
 - 2年：友だちの心を大切に 自分がされていやなことは友だちにもしません
 - 3年：あいさつ 声かけ ふわふわ言葉でみんなの心もポカポカにしよう
 - 4年：悪口を言わずに みんなで仲良くしよう
 - 5年：人が傷つくことをせず、笑い声、笑顔あふれるクラス・学校にしよう
 - 6年：自分も相手も楽しく笑顔になれることを考えて話をしたり行動したりする
- なかよし：ふわふわことばで、笑顔いっぱいにしよう

クラスみんなが人権宣言を意識して生活することで、一人一人が笑顔で気持ちよく生活することができました。教室や学校でいつも以上に相手を意識した温かい声かけができました。

② 人権集会 12月6日(木) 2校時



車いすを使って生活や仕事をされている北川誠さんを講師にお招きして、お話を聞かせていただきました。自己紹介の後、けがや障がい、仕事や日常生活について、スライドや実演を交えながら、わかりやすく説明していただきました。途中、北川さんが日頃から熱心に取り組まれている車いすバスケットボールの実演も見せていただきました。

.....【6年児童の作文より】.....

私は、車いすに乗っている人は自分のやりたいことはできないと思っていました。でも、北川さんのお話を聞いて、わたしたちと同じでやりたいことをやれることを初めて知りました。周りの人の助けもいるけれど、自分の力でやり遂げられるようにするために工夫しているんだと思いました。車いすに乗ったり、障がいのある人も、わたしたちも、自分のできることを探すということは、同じだと思いました。

これから私は、困っている人を見つけたら、声をかけたり助けたりして、人の役に立てることを増やしていこうと思いました。北川さんに教えてもらったことで、私の生活が変わりそうです。

.....

子どもたちは、車いすでの生活がどういうものなのか、知らない子が多かったようです。最後の質問タイムでは、子どもたちから数多くの質問が出され、北川さんから丁寧に答えていただきました。それだけ興味深いテーマだったのでしょう。障害を持った人を理解することが、共に生きるための第一歩だと思います。車いすの人を見たら手助けをしなければならないということでなく、障がいを持つ人が望んでいる時に、必要な手助けが受けられるとありがたいという北川さんの言葉が印象的でした。

③ なかよし委員会の取組

もっとみんなが仲よくなるため、全校の友だちからサインを集める活動に取り組みました。

④ その他

「ぬくもりメッセージ2018」の作品作りやたてわり遊びなどに取り組みました。

自分を大切に、そして、人を大切にする様々な取組を通して、子どもたちは人とつながりあって生活することの大切さを感じたことでしょうか。これを機会に、一人一人が輝き、やさしさや思いやりの輪がさらに広がることを期待します。



【たてわり遊び】